資料１

町立認定こども園の整備について

１　施設整備について

・大井第二幼稚園の園舎を改修する計画から、新たに園舎を建替え（新築）に変更します。
・現園舎敷地の南側（敷地拡張部分）に新築します。現在の園舎は解体し、園庭及び駐車場を整備します。

２　目標年月

令和１０（２０２８）年４月の開園を目標とします。

３　新園舎の概要及び支援制度について

（１）建築工事
園舎　　新築：木造・平屋
面積：１，２００㎡（３６３坪）

（２）支援制度（こども家庭庁）
就学前教育・保育施設整備交付金　１／３（公立）

４　給食提供について

すべての子どもに自園調理による給食を提供します。

※　新築・改修（案）にあたっての比較検討

	メリット	デメリット
１　改修案 （面積 1,312 ㎡）	・工事費用が最も安い	・約 20～30 年後の大規模な修繕等が必要 ・工事期間中の仮設園舎の検討
２　新築案 （ＲＣ造）	・耐久性、耐火性が非常に高い ・遮音性が高く、音対策に有利	・建設コストが最も高い ・工期が長い ・解体時の費用が高い
３　新築案 （鉄骨造）	・大空間（ホール等）が作りやすい ・メンテナンス等で 50 年程度の耐久性が確保 ・将来的な間取り変更の柔軟性あり	・断熱、遮音性能が低い ・錆びの点検、補修が必要
４　新築案 （木造）	・メンテナンス等で 50 年程度の耐久性が確保 ・基礎工事のコストが抑えられ、工期が短い ・脱炭素や環境に配慮した資材	・遮音性が低い ・シロアリ対策が必要